

国労フクシマ現地視察

国労水戸

国労水戸地方本部
 水戸市中央1-1-11
 E N Yビル2F
 029-221-4008
 発行責任者 塚原良雄
 編集責任者 坂下 司

フクシマを風化させない

第4回国労フクシマ交流会が11月に開催されます。その前段での本部、東日本本部、水戸地本、仙台地本による、現地視察が10月4日、5日に開催されました。

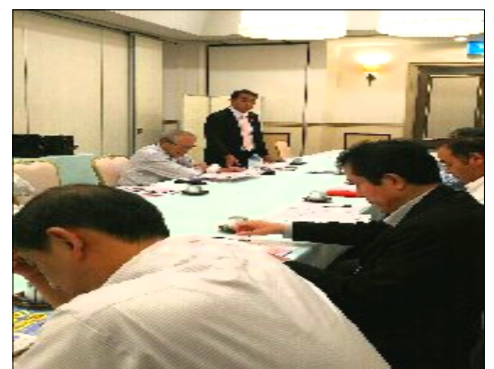
1日目は、2017年春の運転再開に向けた常磐線復旧工事の現状視察とい

うことで、富岡駅、浪江駅、桃内駅を視察。今年7月10日に再開した小高・原ノ町間を視察してきました。夜の交流会では、いわき

つがよつ
 技術(たぎ)と
 魂(たま)と
 運動を

市議会議員の狩野さんより、原発関連問題で現地の状況について報告を受け、現地組合員との激励交流会を開催してきました。

交流会の中では設備系の仲間から、エルダーになつてから労働が要員の不足もあり、休日変更、年休を流してきている。新地からの通勤が一番の問題だ。営業職では、以前に輸送をしていたが、いらつしやいませの言葉が言えない状況です。



MTS職場では1年2カ月間、水戸において原ノ町に戻ってストレスも解消してきた中で精神的にも余裕ができるようになった。MTSの労働者との関係を作りながら働き続けていく条件を作りたいなどの報告がありました。

9月22日、代々木公園でさよなら原発・戦争大集會が開催し、雨の中、9500人が参加、水戸から7名が参加しました。

さよなら原発
 戦争大集會



2日目は今年12月10日に運転再開になる相馬・浜吉田間の新地駅を視察し、新駅が建っています。もう一度、原点に帰り、福島を振り返って行くことを確認し終了してきました。



福島原発事故被災者、北海道の原発問題について報告がありました。子供、原発作業員の健康、戦争反対、原発再稼働反対、沖縄の基地に反対し福島の生活を取り戻そうと報告がありました。